

【研究課題名（研究番号）】

慢性硬膜下血腫の治療成績：当施設における側臥位穿頭術式の有効性（No. A26-002）

【当院の研究責任者】

脳神経外科 福井崇人

【他の研究機関および各施設の研究責任者】

なし

【本研究の目的】

慢性硬膜下血腫（CSDH）は、主に頭部外傷が原因で、脳の表面にじわじわと血液がたまる病気です。脳を圧迫し、頭痛、運動麻痺、歩行のふらつき、物忘れなどを引き起こします。この疾患に対する治療法として、頭蓋骨を穿孔し血腫を除去する「穿頭血腫ドレナージ術」は標準的治療法であり、症状の改善も得られやすく、多くは予後良好です。しかし、術後の再発が 10-20%程度との報告があり、術中術後の再発管理が課題となります。当院では、術後再発低減を目指し、側臥位での穿頭および術中血腫吸引・洗浄を基本術式として用いております。本研究では、過去 11 年間の自験例から本術式の治療成績と有効性について解析検討することを目的とします。

【調査データ】

該当期間 2015 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までの診療録情報を調査対象とします。なお、ご自身の情報を研究に利用されることを希望されない場合は、下記問い合わせ先にお問い合わせください。

【研究の方法（使用する試料等）】

●対象となる患者さま：当院に慢性硬膜下血腫でご入院された患者さま

●利用する情報：診療情報より以下の情報を収集いたします。

診療記録（手術記録）、血液検査データ、画像検査結果など

試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法 他の機関への試料・情報の提供はない

【個人情報の取り扱い】

利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会もしくは論文等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

【利益相反】

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

【データの利用 同意されない場合と その申し出の期限】

申し出期間：2026 年 9 月 30 日まで

お問い合わせ先 電話：044-987-2522(麻生総合病院代表)

担当者：脳神経外科 福井崇人

【備考】

特にありません